

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

岐南町青少年育成町民会議

○講演会「親子が深まる 家族みんなが笑顔になる」

講師 臨床心理士 山田日吉氏

問題行動の若年齢化、性にかかわる問題など子ども・若者を取り巻く環境の変化から、子どもの健全な発育を促すために、家庭教育を中心とした子育ての根っこを考えることを目的に講演会を実施しました。講演会では、「自分の子どものよさを紹介し合う活動があったが、なかなか出すことができなかった。いかに普段子どもと向き合っていなかったか認識しました。」という声がありました。「学校を核にした地域づくり」、「子ども真ん中のまちづくり」という言葉ありますが、子どもを取り巻く環境を整えるのは、大人です。それを考えるきっかけとなった講演会でした。



○町内の三小学校区で青少年育成活動

東校区 「Autumn Festival In Higashi 2024」

岐南町民憲章にもある「文化のかおりたかいまち」をつくることを目的に、岐南町内の文化・芸術団体等が演技を発表しました。県重要無形文化財である伏屋の獅子舞では、東校区伏屋地区に江戸時代から伝わる妙技が披露されました。また、今年度は、数々のコンクールで優秀な成果を収めている町内のダンス団体が発表しました。日頃同じクラスで生活している仲間のいつもとは違った姿に、子どもたちは見入っていました。東小学校の教職員も参観し、「学校の中にいると、目の前の子どもたちの指導に精一杯ですが、町内で活躍する様々な文化団体を知ることができました。岐南町で生きる子どもを育てていきたいです。」との声も上がりました。

西校区 「ふれあいお餅つき大会」

田植え、稲刈り、米からお餅をつくる過程を学ぶことや、様々な立場の大人や中学生ボランティアと小学生が一緒にお餅つきをする活動を通して、地域コミュニティ意識を高めることを目的に、「ふれあいお餅つき大会」が実施されました。PTA・OBの「オヤジの会」を中心に、前日から準備を進め、盛大に行われました。自分たちでついたお餅を、参加者みんなでおぼりました。子どもたちの体験はもちろん、大人が楽しそうにお餅をつく姿を子どもたちに見せることが、世代循環につながると考えます。

北校区 「けやき祭り」

子どもたちが、様々な体験活動を通して、自身の興味関心を広げ、仲間との関わりを深めることを目的に、地域講師が科学実験や和太鼓、むかし遊び体験教室などの授業を行いました。「けやき祭り」には、毎年、北小学校を卒業した岐南中学校の生徒がボランティアとして訪れます。中学生は、「私たちもたくさんお世話になったから、恩返しをしたい。」とこの活動を楽しみにしており、やさしく小学生に接していました。JAぎふと行った花の苗うえ活動では、JA若手職員が内容を説明し、児童、保護者が一緒に活動を行いました。学校、家庭、地元企業の三者がうまく噛み合う、よい活動でした。

私たちは、青少年育成活動を特定の役員だけで行うのではなく、自治会、学校、PTA、PTAOB、子ども会など、地域の様々な立場の大人が協働して行いたいと考えます。イベントを通じて、地域住民の輪を形成し、ゆるいつながりを少しずつ広げていくことで、青少年の健全な育成、問題行動の未然防止につなげていきます。

誰ひとり取り残さない岐南町を実現したいと考えます。